

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成21年 7月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1070500614
法人名	株式会社メデカジャパン
事業所名	太田ケアセンターグループホームそよ風
所在地	太田市飯田町814-1 (電話) 0276-60-2180

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成21年7月27日

## 【情報提供票より】(平成21年7月12日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成14年4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	12 人
職員数	11 人	常勤 10人, 非常勤 2人, 常勤換算	10.4人

### (2)建物概要

建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り		
	6階建ての	3階 ~	4階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	ベッドレンタル 3,500円
敷金	有(150,000)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
1日1,400円			

### (4)利用者の概要(7月12日現在)

利用者人数	11名	男性	1名	女性	10名
要介護1	0名	要介護2	1名		
要介護3	8名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.4歳	最低	71歳	最高	92歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	山岸内科医院
---------	--------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市内の中心部にあるビルの3階、4階を利用した2ユニットのグループホームである。同ビルの1階はレストラン、2階はデイサービス、5・6階は高齢者住宅となっており、デイサービスの利用者と行事等で交流がある。ホーム内は静かで、共有空間や居室は広く、開放的である。居室にはトイレと洗面所がついており、入居者は人目を気にせず使用することができる。また、1ユニット6名のため、入居者一人ひとりに職員が目が行き届き、入居者と十分にコミュニケーションを持つことができている。職員は日々入居者の思いや意向の把握に努め、理念を目標に支援している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題である理念は、職員全体で話し合い見直しを図っている。また、運営推進会議は定期的開催され、運営推進会議に参加する区長や民生委員などの協力を得て地域との交流を図る等具体的な取り組みを始めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、評価の意義を理解し、今回の評価に全員で取り組んでいる。年1回ある評価について自己点検の意味もあるとし、前向きに受け入れている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、区長、民生委員、市職員、家族の代表、入居者、職員、管理者の出席で定期的開催されている。今後、討議内容をケアの質向上のためのものとするよう、さらに市町村との連携を強めていかれることを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族に対するホームの情報提供は、毎月ホーム便りの郵送及び面会時に職員とのコミュニケーションを通して行われ、意見・苦情もその機会を通して得るようにしている。また、介護計画作成時に、個々の意見・要望を書面でもらい、もらった意見は会議で検討して反映するようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営推進会議で、地域の行事や資源の情報を得て、参加していく計画がある。地域に対してホームの資源の活用も考えており、今後連携について地域との話し合いを期待したい。</p>

## 2. 評価報告書

(   部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域社会の中で笑顔で過ごせるあたたかい家族」のホームの理念は、職員全体で考えてつくりあげている。	○	理念はホーム入り口や食堂に掲示しているが、さらにパンフレットや運営規程にも掲げるなど、より多くの人にホームを理解してもらうような工夫を期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、ホーム入り口や食堂に掲示している。1年前に職員全体で考えて作りあげた理念を、管理者と職員は共有し、日々の介護の中1ユニット6名の特徴を生かし、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議で、区長や民生委員などにホームの行事を知らせ、地域の方々に参加を呼びかけてもらおうと計画している。また、地域住民センターを利用して、入居者と地域の方々との交流を計画している。	○	実際に地域に出て、地域の方々との交流を図っていくことを期待したい。
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価は4回目であり、職員は評価の意義を十分に理解している。自己評価は職員全体で取り組み、前回評価の課題は、全体会議で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2～3ヶ月に1回、市の職員、区長、民生委員、入居者家族代表、入居者、職員、ホーム長の参加で開催している。現在は、主に行事の報告であるが、出された意見・要望はホーム内の会議で検討し、サービス向上に活かしている。区長より質問があり、民生委員、区長の集まりで、もう一度グループホームについて説明することを検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者と、運営推進会議以外で行き来する機会はほとんどない。	○	地域全体の認知症ケアの理解や質の向上を図るために、行政と協力して、ホームの資源の活用なども検討していただきたい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームの様子は、毎月発行するホームだより「そよ風新聞」に掲載し、月1回請求書と一緒に送付して家族に報告している。また、個々の出来事や暮らしぶり、健康状態については、家族の面会時に報告している。緊急的な事柄は、随時電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に、家族代表の方に参加してしてもらい、意見を聞いている。また、家族の面会時を利用して、ホームに対する意見を聞いて、会議で話し合いケアに反映させている。ホーム外の相談・苦情受付についても知らせている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員が入職した場合は、なれるまで2名体制の職員配置を行い、入居者への影響を最小にするように配慮している。		
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内の勉強会は、ユニット会議や全体会議を利用して必要時行っている。外部研修は、職員が交代で参加する機会を設けている。また、勤務年数により認知症介護実践研修や管理者研修にも参加している。参加後は、ホーム内で内容を報告し共有化を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東毛地区の同業者と連携し、勉強会や相互訪問研修を通して、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には何度も見学してもらい、必要であれば体験入居をしてもらっている。家族や本人には説明を十分行い、納得のうえで入居してもらっている。居室に入る程度の家具であれば持ち込みの制限はなく、生活の継続性を図っている。同法人のショートステイ、デイサービスからの入居者が多く、馴染みながらの入居としている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	現在、職員の異動はなく、入居者と職員が共に生活する雰囲気です。職員は、入居者から物を大切にすることなど、人生におけるアドバイスをしてもらうこともあり、支えあう関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者が自分の思いを気兼ねなく表現できるように、職員は日常の会話や日々のふれあいの中から、常に意向を確認するようにしている。また、確認が困難な場合は、日常の様子から職員間で話し合い、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、それぞれのユニット会議や全体会議の機会を活用してケアカンファレンスを行い、作成している。作成に関して、家族や主治医の意見を反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、ユニット会議や全体会議の機会を活用してケアカンファレンスを行い、作成している。様子が安定している場合は3ヶ月に1回、入退院など何かあった場合は随時見直しを図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の要望を伺い、出来る限り要望に合った支援をしている。デイサービスの行事に参加したり、休日にデイサービスの車を借りてドライブなどに出かけている。家族が行けない場合は、通院支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホーム協力医は、在宅医療に協力的であり、毎月1回の定期診療のほかに、突発的な事態にも往診で対応するなど適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	かかりつけ医の状況に応じた治療やアドバイスによって、入居者・家族・職員が方針を共有している。9月から訪問看護ステーションと契約して、必要時に訪問看護サービスを活用する計画である。家族からも医療連携の同意書を得ている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報、運営規程にそって守られ、日常のケアでも個人の尊厳を守るように努めている。記録は、鍵のかかる棚の中に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりの思いや暮らし、障害等をアセスメントして、その人らしい暮らしになるように支援している。花を育てるのが好きな入居者には、家庭菜園で草むしりや苗を植える等してもらったり、おりがみの好きな入居者は作品を部屋に飾ってもらっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食と夕食は厨房で準備され、厨房まで職員と一緒にとりに行ったり、味噌汁を分けたり、テーブルを拭くなど職員と一緒に食事の準備をしている。また、食器の片付けは、一人ひとり自分の使ったものを洗って片付けている。食事は刻み食などその方にあったものを準備し、職員は入居者と一緒に食事を摂っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、体調に問題がなければ、夕方から一人ひとり順番に入浴できるよう支援している。希望により、毎日入浴を楽しんでいる入居者もいる。また、しょうぶ、ゆず等を入れて香りを楽しめるよう支援している		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自室の掃除、洗濯物の片付け、食器洗いなど、出来る範囲でそれぞれが役割を持てるよう支援している。また、昔から楽しんでいた家庭菜園や折り紙などの楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	少なくとも週に1回は、近隣の公園までの散歩をしている。その他、外食やドライブなど戸外に出かける機会を計画している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームはビルの3階と4階に位置しており、職員は鍵をかけないケアについては十分理解しているが、入居者の安全のために、階段やエレベーターは施錠している。また、窓ガラスにはストッパーがかかっている。	○	鍵をかけないケアの方法について、職員間でよく話し合っていたきたい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署の協力の下で、防災訓練を行っている。災害対策のためのマニュアルも整備されており、職員に周知されている。災害時には、地域の方々にホームの資源を活用してもらおうと計画している。	○	地域の方々と、防災対策について話し合う機会を設け、協力体制を築いていただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がカロリー計算を行い、作成した献立に基づいて毎日の食事が準備されている。食事・水分摂取量は観察・記録され、状況に応じて医師の指示のもと、栄養補助ドリンクを提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂・居間はゆったりと過ごせるスペースがあり、また3階4階に位置しているので、窓から公園の緑などが見渡せて見晴らしがよく居心地が良い。居間は家庭的な設えであり、居心地よく過ごせるように工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は広く、それぞれ自分の好きな家具や私物を置いている。仏壇を置いている方、写真を飾っている方、鉢植えの花をいくつも飾っている方、それぞれその人らしい生活の雰囲気である。トイレ・洗面台が設置され、気兼ねなく利用できるようになっている。		